



サルビア

令和3年5月13日

第7号

学校は野菜いっぱい・花いっぱい ～種まき、苗植え、挿し芽～

<5・6年生 総合的な学習の時間>

5月12日(水)は5年生と6年生が学校評議員でもある久保田忠雄様にご指導いただき、小菊のさし芽とサルビアの種まきを行いました。

作業終了後に栽培委員会の児童に水やりの仕方も教えていただきました。

「挿した芽には最初は2日に1回の水をやらないとかわいそうなんだ。10日もすると自分で水を吸い上げようとするから3日に1回でいい。自分で自分を養おうとする力がついてくるから、水やりの回数はだんだん減らしていくんだよ。」

小菊の話ではありますが、なんとなく人間の子育てにも通じるものがあります。心に残る言葉です。



これくらいの長さでいいかな



たくさん根付きますように



ムラ無く蒔くのが難しい

<2年生 生活科>



学校東側の畑に2年生が夏野菜の苗を植えました。

オクラやキュウリ、ナス等のかわいい苗が並びました。花を咲かせ、実をつけるまで除草作業や水やりなど小さな手がんばってほしいです。

写真はナス苗です。職員もマルチ張りをがんばりました。

畑こうろんの耕耘は農園整備でお世話になっている齋藤秀和様に今年もお力添えをいただきました。ありがとうございました。

タブレット はじめの一步

13日(木)3校時、6年2組が初めてタブレットを使った授業を行いました。

一人ひとり机の上に置かれたタブレットを使って『自己紹介カード』を作ろうという活動です。使用する際の注意を聞いた後、いよいよ、ログイン。「ワクワクする!」という声も聞こえてきます。写真を撮ったり、名前を書き込んだりといろいろな機能を試しました。

「人がいやな気持ちになるような画像や言葉は使わない」といったマナーも指導しました。

